

セメスター留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏名		所属	文 学部	中国文 学科	3 年
学籍番号		留学期間	令和 1 年 9 月 ~	令和 2 年 1 月	
留学先 国・地域	中国	留学先(学校)	復旦大学		

○報告内容

<p>1. 留学前準備(留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※必須(300字以上)</p> <p>私はもともとある程度の中国語は話せましたが、それはただの日常会話程度であり、試験になるととんに出来ませんでした。中検2級にも筆記が原因で2度落ち、参考書を読んでも全然頭に入ってきませんでした。また、中国文化についても全然知識がなく、これでは自信をもって「私は中国語を話せます！」と言えないと思いました。真の中国語話者になるには、きちんと中国の文化と様々な背景を理解して、その上に言語理解がくると思い、それなら自分で実際に中国へ行って生活をして、現地の人々との交流や自分で身をもって感じる事が大切だと思い、上海留学を決意しました。帰国後の目標としては、HSK6級を取得すること、作文をもっと書けるようになり、自分の意思を文章を通してでもきちんと伝えられるようになることでした。そして、将来的に中国語を使った国際的な仕事に就きたいと夢に一歩でも近づくことを目標としていました。</p>
<p>2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動 等) ※必須(300字以上)</p> <p>基本的かもしれませんが、あまり日本人といえないようにしました。世界各国から皆それぞれ夢をもって中国に留学に来ていたので、彼らと積極的に交流をして刺激を受けるようにしていました。大学を卒業して就職を遅らせてでも、夢にもっと近づくためにまず中国に留学に来た人、仕事を途中でやめて中国に来た人、中国で夢を叶えたいという人、本当に様々な人。皆が自分の夢に向かって努力している姿は本当にキラキラしていて、吸収させてもらったことが本当に多かったです。クラスでは先生にご指名をいただき人生初の学級委員長を務めさせていただきましたが、やはりクラス全体での共通言語は皆の"第三言語"なので、どのようにすれば皆に伝えたいことがきちんと伝わるのか、クラスのまとめ方は日本とどう変えたらいいのかなどを考える機会にもなりました。一番苦手な作文の授業では、任意提出の700字程度の作文も毎授業提出し、最初は赤訂正ばかりだった作文も、帰国前にはほとんど修正なしでレベルを上げることができました。週末には飛行機や高铁に乗ってちよくちよく旅行に行き、中国の文化や景観を実感しに行くようにしていました。</p>
<p>3. 留学の成果(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※必須(300字以上)</p> <p>帰国後受けたHSKでは5級も6級もダブル合格をすることが出来ました。帰国後に始めたアルバイト先の半分以上のスタッフが中国人で、彼らと中国の文化や生活、学習、様々な習慣についての意見交換を頻繁に行っており、これは中国に実際に行き身をもって体験したからこそ、通じ合えるし理解もしやすくなったんだなとしみじみ実感しています。また、今までは1文2文話すことが限界でしたが、今では10文程度一気にまとめて話すことが出来るようになり、学んだ成語やことわざを使ってより深い会話が出来ようになりました。日本でも中国語は学べますが、やはり本の上が限界なので、実際に五感全部をフルに使って体験したこの経験は、本当に一生忘れられないものだと思います。</p>
<p>4. 留学の成果の活用(留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか 等) ※必須(300字以上)</p> <p>今回の留学を通して、中国語を沢山使う仕事に就きたいとより強く思うようになりました。中国語は表現の幅が本当に広く、同じ内容でも一人一人違った表現をすることが可能です。それを活かして、自分にしかできないような表現を使って、もっと相手との距離を縮められれば、日中友好の架け橋にもなれると信じています。本だけからでは学びきれないことを現地で学んできたので、それをどんどん有効活用して企業のため、人々のために役立つお手伝いが出来たらいいな、と思います。</p>

氏名		所属	文 学部	中国文 学科	3 年
学籍番号		留学期間	令和 1 年 9 月 ~	令和 2 年 1 月	
留学先 国・地域	中国	留学先(学校)	復旦大学		

5. 留学中の画像(お気に入りのスナップ) ※必須(画像1枚以上)

※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、挿入する画像を選択・挿入してください。



写真の説明① G3クラスのクリスマスパーティーを主催しました。クラス全員来てくれて、本当に嬉しかったです。最初はお店との電話が苦手でしたが、もうこの時には自分でお店に電話をかけて予約することが出来るようになっていました。



写真の説明② 韓国の女友達と仲良し3人組で上海外国語大学へ行きました。友達が上海外国語大学に通っていて、案内してもらいました。また違う大学の雰囲気を知れて、とても楽しい1日でした。魯迅公園が近くにあったので行ってみたいと思って、どこも自然に囲まれた素敵な環境でした。



写真の説明③ 一番忘れられない思い出が青島旅行です。人生初中国国内線に乗りました。航空券・ホテルの予約も全部中国語でやりました。注文確認メールが来なくてお問い合わせセンターに電話して中国語で問い合わせたり、未知の土地を皆の中国語を合わせて開拓していったり、本当に刺激的な旅でした。



写真の説明④ これも人生初、外で年越しを迎えました。上海市のプログラムに参加させていただけことができ、妙華寺で年越しを迎えました。このお寺の歴史をガイドさんに教えていただき、特別に中国伝統の年越し料理も堪能になり、中国文化への理解が高まりました。また、ホテルを予約して宿泊し、中国のホテルビューフェを体験したり中国のIKEA(宜家)へ行って、日本との違いを身をもって実感することが出来てとても楽しい1日でした。

6. 外国語での記述(前記1~4の項目について要約し、留学地域の言語で記述してください) ※必須(字数・語数は問いません)

从出生到现在,这20年里,算起来一共有3年的时间我住过几个国家。尤其这次的上海留学是我永远难忘的回忆,对我的影响很大。通过这次留学让我认真思考了一下我的人生态,我真诚地感觉到我来上海留学的选择是对的。不仅对我日常学习的中文进一步加强巩固,还通过游览观光等活动对中国的些许风土人情有了初步了解。在上海渡过的每段时光都给我留下了深刻美好的回忆,我特别感谢我的父母全力以赴支持我去上海留学,并且结交认识的不同国家的同学和老师!

7. その他(自由記述)

関わってくださった、応援してくださった全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。